

Pioneer

DJ コントローラー

DDJ-SP1



「Serato Scratch Live」

セッティングファイル インポートガイド

はじめに(重要)

弊社では、Serato社製DJソフトウェア「Scratch Live」専用のセッティングファイル(XMLファイル)を提供しております。このファイルをインポートすることにより、「Scratch Live」を本機でコントロールできます。

- ・「Scratch Live」がインストールされたコンピュータが必要です。
- ・別途、「Scratch Live」の認証ができるDJ機器(ミキサーまたはサウンドカード)が必要です。
- ・「Scratch Live」のすべての機能には対応しておりません。必要に応じてお客様自身で設定してください。
- ・追加で設定するときは、お使いの「Scratch Live」認証機器のマニュアルをごらんください。
- ・本機のボタンやつまみで「Scratch Live」を操作するには、別紙の機能対応表[DDJ-SP1 機能対応表 ~Serato Scratch Live 2.5 ~](PDFファイル)をごらんください。
- ・セッティングファイルは2デッキ用と4デッキ用の2種類があります。お使いの「Scratch Live」認証機器が2デッキまでに対応している場合は2デッキ用のセッティングファイルを(ファイル名: PIONEER_DDJ-SP1_VXXX_2DECKS.xml)、それ以外の場合は4デッキ用のセッティングファイル(ファイル名: PIONEER_DDJ-SP1_VXXX_4DECKS.xml)をご利用ください。

ご注意

「Scratch Live」はSerato社の製品です。

「Scratch Live」の使用方法に関するお問い合わせは、弊社ではお受けできません。お使いの「Scratch Live」認証機器のマニュアルなどでご確認ください。

免責事項

- ・本セッティングファイルのダウンロードおよびインストールによるいかなる損害についても、当社は一切保証いたしません。本セッティングファイルの動作保証は一切保証いたしません。
- ・本セッティングファイルのダウンロードおよびインストールやセッティングファイルの使用に際しては、利用者ご自身の責任において行っていただけますようお願い申し上げます。
- ・本セッティングファイルの仕様は予告なく変更することがあります。
- ・本セッティングファイルに関するサービスは予告なく終了することがございます。あらかじめご了承ください。

既存のセッティングファイルをバックアップする

既存のセッティングを必要に応じて復元できるよう、以下の手順に従ってバックアップを取っておくことをお勧めします。

！ ！ ！ はじめて「Scratch Live」をお使いになるお客様はこの作業は必要ありません。

1. Scratch Live 認証機器とコンピュータを USB ケーブルで接続する

2. 「Scratch Live」を起動する

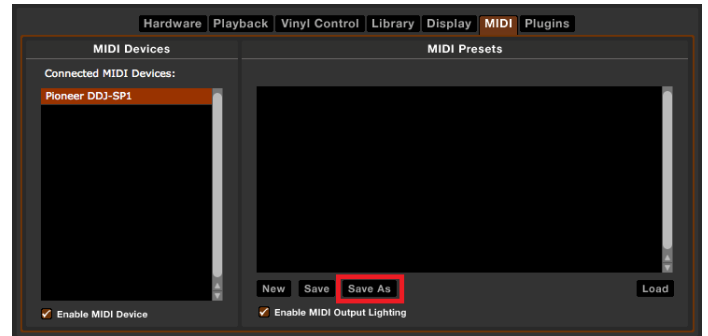
3. 画面右上の[SETUP]を選ぶ

4. “SETUP”画面から[MIDI]タブを選ぶ

※ Scratch Live 認証機器が接続されていない場合は、[MIDI]タブは表示されません。

5. [Save As]ボタンをクリックする

わかりやすい名前(例: BackUp.xml)をつけて保存してください。



既存のセッティングファイルを削除する

ご注意

他のセッティングファイルが既にインポートされていると正常に動作しないことがあります。そのときは、以下の手順に従って“AUTO_SAVE.xml”という名前のファイルを削除してください。

! はじめて「Scratch Live」をお使いになるお客様はこの作業は必要ありません。

1. “MIDI”フォルダを開く

— Windowsのとき

Explorer等を操作して、以下のパスにある“MIDI”フォルダを開きます。

ユーザー¥XXXX¥マイ ミュージック¥_Serato_¥MIDI

※ 上記XXXXは、ログイン名です。

— Mac OS Xのとき

Finderを操作して、以下のパスにある“MIDI”フォルダを開きます。

ユーザ/ミュージック/_Serato_/MIDI

“MIDI”フォルダが無い場合は、「セッティングファイルをインポートする」へ進んでください。

2. “AUTO_SAVE.xml”ファイルを削除する

“MIDI”フォルダ内にある、“AUTO_SAVE.xml”ファイルを削除します。

※ “AUTO_SAVE.xml”は、Scratch Liveが自動で作成するファイルで、“SETUP”画面の[MIDI Presets]ウィンドウには表示されません。

セッティングファイルをインポートする

1. 弊社サポートサイト

(<http://pioneerdj.com/support/>)

へアクセスし、サポートトップページからDDJ-SP1の[ソフトウェアダウンロード] > [Scratch Live セッティングファイル]に移動して、セッティングファイルをダウンロードする

ダウンロードしたファイルはZIP圧縮されていますので事前に解凍してください。

— Windowsのとき

ダウンロードしたファイルを右クリックして[すべて展開]を選んでください。展開ウィザードが表示されますので、展開先のフォルダを指定して展開(解凍)してください。

— Mac OS Xのとき

ダウンロードしたZIPファイルをダブルクリックして解凍してください。

解凍すると“PIONEER_DDJ-SP1_VXXX_2DECKS.xml”と

“PIONEER_DDJ-SP1_VXXX_4DECKS.xml”という名前のファイルが取り出されます。

! お使いのブラウザによっては自動的に解凍されることがあります。このときは解凍の操作は必要ありません。

2. 手順1でダウンロードしたセッティングファイルを下記のフォルダに保存する

— Windows のとき

ユーザー¥XXXX¥マイ ミュージック¥_Serato_¥MIDI

※ 上記XXXXは、ログイン名です。

— Mac OS X のとき

ユーザ/ミュージック/_Serato_/MIDI

“_Serato_”フォルダの下に“MIDI”フォルダが無い場合は、お客様自身で作成してください。

3. DDJ-SP1とScratch Live認証機器を、それぞれUSBケーブルでコンピュータに接続する

4. DDJ-SP1のユーティリティモードで、「Serato DJ以外のDJソフトウェアを使う」設定にする

ユーティリティモードで設定を変更する方法は、DDJ-SP1の取扱説明書(応用編)の[本機の設定を変更する]をごらんください。

5. 「Scratch Live」を起動する

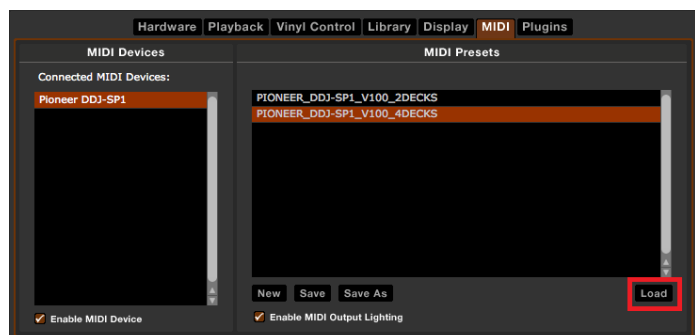
6. 画面右上の[SETUP]を選ぶ

7. “SETUP”画面から[MIDI]タブを選ぶ

8. “MIDI Presets”ウィンドウの中にある、本機用のセッティングファイルを選択して、[Load]をクリックする

手順 2 で保存したセッティングファイルのうち、お使いの Scratch Live 認証機器が、4 デッキに対応している場合は

“PIONEER_DDJ-SP1_VXXX_4DECKS.xml”を、2 デッキまでに対応している場合は“PIONEER_DDJ-SP1_VXXX_2DECKS.xml”を選択します。



12. 画面右上の[SETUP]をクリックして“SETUP”画面を閉じる

以上ですべての設定は完了です。

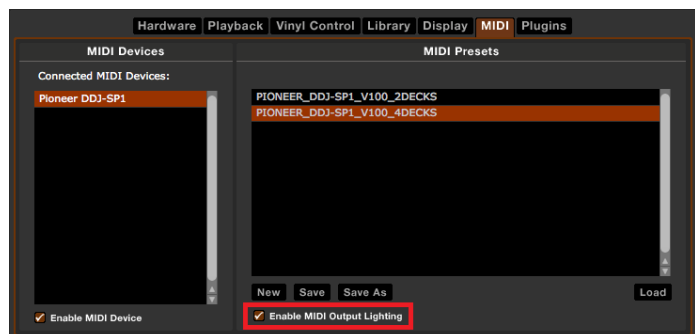
9. [Enable MIDI Output Lighting]チェックボックスにチェックを入れる

本機のパッドやボタンを点灯させるには、このチェックボックスにチェックを入れる必要があります。

※ 機能によっては、パッドやボタンが点灯しない場合があります。

詳細は、別紙の機能対応表[DDJ-SP1 機能対応表 ~Serato Scratch

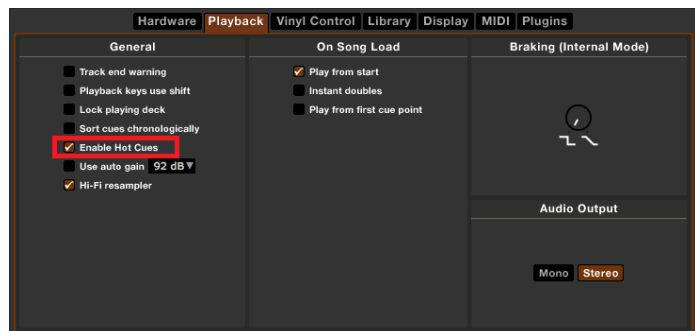
Live 2.5 ~](PDFファイル)をごらんください。



10. “SETUP”画面の[Playback]タブを選択する

11. [Enable Hot Cues]チェックボックスにチェックを入れる

ホットキュー機能を使うには、このチェックボックスにチェックを入れる必要があります。



商標および登録商標について

- ・ Pioneer はパイオニア株式会社の登録商標です。
- ・ Scratch Live および Serato DJ は Serato Audio Research 社の登録商標です。
- ・ Windows®は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- ・ Mac OS および Finder は、米国および他の国々で登録された Apple Inc.の商標です。
- ・ その他記載されている会社名、商品名、技術名等は各社の商標または登録商標です。

©2013 パイオニア株式会社 禁無断転載

パイオニア株式会社

〒212-0031 神奈川県川崎市幸区新小倉1 番1 号